

東中小学校R5 学校評価まとめ（中間評価）※（ ）はR4年度末評価との差 赤字は前回より下がった項目

できている どちらかというできている どちらかというできていない できていない

【分析】全ての項目で前年比を上回る。家庭学習への取り組み方を変えた効果も見られる

| | | | | | | | | | | |
|------------------------|--|--|---|-----|-----|-----|---------------|---------------|---------------|--|
| A 前向きに学び続ける力 | 授業場面 | ① 子どもは自ら課題を捉え、解決に向けて意欲的に取り組んでいるか | <table border="1"> <tr> <td>教職員</td> <td>38%</td> <td>63%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 教職員 | 38% | 63% | | | 3.4 (+0.1) | <p>【職員の声】 主に授業場面では意欲的に取り組んでいるため、担任の言葉に合わせてどの子もできているように感じる。しかし、個人を見ると課題をつかみきれていなかったり、解決の手立てや考えを巡らせるところまでには至っていないため、今後は学習の仕方や、自分で考えをもつことなどの指導をしていきたい。</p> <p>【現状と今後に向けて】 各学年とも学びに前向きに向かう姿が見られる。教科による得手、不得手など個々人に応じた課題は存在するので、今後も丁寧に個に応じた指導の在り方や必要な手立てについて模索していく。</p> |
| | | 教職員 | 38% | 63% | | | | | | |
| | | ① お子さんは、意欲的に授業や行事に取り組んでいますか？ | <table border="1"> <tr> <td>保護者</td> <td>74%</td> <td>26%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 保護者 | 74% | 26% | | | 3.7 (+0.1) | |
| | 保護者 | 74% | 26% | | | | | | | |
| | ① 授業の始めでは何を学ぶか理解してから取り組んでいるか | <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>77%</td> <td>20%</td> <td>3%</td> <td></td> </tr> </table> | 児童 | 77% | 20% | 3% | | 3.7 (+0.1) | | |
| | 児童 | 77% | 20% | 3% | | | | | | |
| 家庭 | ⑨ 子どもはやる気をもって宿題や家庭学習に取り組んでいるか | <table border="1"> <tr> <td>教職員</td> <td>25%</td> <td>63%</td> <td>13%</td> <td></td> </tr> </table> | 教職員 | 25% | 63% | 13% | | 3.1 (+0.1) | | |
| | 教職員 | 25% | 63% | 13% | | | | | | |
| | ② お子さんは自ら進んで家庭学習に取り組んでいますか？ | <table border="1"> <tr> <td>保護者</td> <td>26%</td> <td>70%</td> <td>4%</td> <td></td> </tr> </table> | 保護者 | 26% | 70% | 4% | | 3.2 (+0.1) | | |
| 保護者 | 26% | 70% | 4% | | | | | | | |
| ⑨ 宿題や家庭学習に工夫して取り組んでいるか | <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>80%</td> <td>13%</td> <td>3%</td> <td></td> </tr> </table> | 児童 | 80% | 13% | 3% | | 3.7 (+0.2) | | | |
| 児童 | 80% | 13% | 3% | | | | | | | |

【分析】縦割り班集会での活動・運動会などの行事を通して、徐々に表現力は向上している。

| | | | | | | | | | | |
|----------------------------|--|--|---|-----|-----|-----|----|---------------|---------------|--|
| B 失敗をおそれず自分なりの表現をつくりだす力 | 主に授業場面 | ② 子どもは根拠をもとに意思決定し、自分なりの考えを表現することができるか（授業での見通しや個人思考） | <table border="1"> <tr> <td>教職員</td> <td>50%</td> <td>50%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 教職員 | 50% | 50% | | | 3.5 (+0.2) | <p>【職員の声】 様々な場面で感想を言う時に、素直な自分の言葉で言えることが多くなった。今後も自分の言葉では発言する機会を多くしていきたい。</p> <p>【職員の声】 自分自身ががんばった経験や話を聞く機会が多くあります。</p> <p>【現状と今後に向けて】 月に1回程度行われる縦割り班集会では、その時々に応じた内容で話し合いがもたれます。（例：運動会に向けて、あいさつ運動、祭典に向けてなど）異学年集団の中で話す機会があることはとても貴重です。 また、地域の皆さんとの交流が戻ってきたことも大きく、運動会では多くのみなさんにご覧いただきありがとうございましたと大きかったと考えると、今後ますます地域に飛び出して、学びやかかわりの中で成長していくことを期待しています。</p> |
| | | 教職員 | 50% | 50% | | | | | | |
| | | ④ お子さんは自分の考えや意見を自信をもって伝えていきますか？ | <table border="1"> <tr> <td>保護者</td> <td>30%</td> <td>61%</td> <td>9%</td> <td></td> </tr> </table> | 保護者 | 30% | 61% | 9% | | 3.2 (+0.2) | |
| | 保護者 | 30% | 61% | 9% | | | | | | |
| | ② 予想を立てたり自力解決するときは、理由をつけてノートに考えを書いたり発表したりしているか | <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>50%</td> <td>43%</td> <td>3%</td> <td></td> </tr> </table> | 児童 | 50% | 43% | 3% | | 3.4 (+0.1) | | |
| | 児童 | 50% | 43% | 3% | | | | | | |
| 主に行事 | ⑤ 子どもは自分の思いや練習の成果を自信をもって表現することができるか | <table border="1"> <tr> <td>教職員</td> <td>50%</td> <td>50%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 教職員 | 50% | 50% | | | 3.5 (-0.3) | | |
| | 教職員 | 50% | 50% | | | | | | | |
| | ⑤ 自分の考えや練習したことを自信をもって表現することができるか | <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>73%</td> <td>27%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 児童 | 73% | 27% | | | 3.7 (+0.2) | | |
| 児童 | 73% | 27% | | | | | | | | |

【分析】挨拶に関する評価は三者で意識の差が大きい。今後地域での活動が増えることもあり、取組が必要。

| | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|--|---|-----|-----|-----|---------------|---------------|---------------|---|
| C 進んであいさつしよりよい人間関係を築く力 | 他者のよさを認める | ⑥ 子どもは互いのよさやがんばりを見つけ、高め合う姿が見られるか | <table border="1"> <tr> <td>教職員</td> <td>63%</td> <td>38%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 教職員 | 63% | 38% | | | 3.6 (-0.2) | <p>【現状と今後に向けて】 子どもたちの「あいさつ観」と「大人のあいさつ観」にギャップがあると考えられる。基本は「お互いきもちがよくなるように」するためのツールであるということ。大人が範を示すことも大切だが、子ども側から自発的に考えさせ</p> <p>【職員の声】 挨拶は先生から挨拶をすると返ってくるが目合わないことが多い。あいさつの時に「〇〇さんのあいさついいね。」「今日も元気だねー」など、大人が一声かけながら目を合わせる等の工夫もある</p> <p>【職員の声】 挨拶は低学年で習慣化し、高学年ではTPOに合わせた挨拶ができると思う。特に2年生は「止まって」「目を見て」が身に付いている。</p> <p>【保護者の声】 地域の人への挨拶などはなかなかできず、挨拶して！と親が促さないといけないのが現状です。挨拶は大事だからあなたが知らない人でも周りの人がお話をしている人だったら挨拶はしようという指導が必要かもしれませんね。</p> |
| | | 教職員 | 63% | 38% | | | | | | |
| | | ⑥ お子さんは他人のよさや他の考えを素直に認めることができますか？ | <table border="1"> <tr> <td>保護者</td> <td>48%</td> <td>48%</td> <td>4%</td> <td></td> </tr> </table> | 保護者 | 48% | 48% | 4% | | 3.4 (+0.2) | |
| | 保護者 | 48% | 48% | 4% | | | | | | |
| | ⑥ 友達のよさやがんばりを認め、よりよいクラスにしようとしているか | <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>80%</td> <td>20%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 児童 | 80% | 20% | | | 3.8 (+0.3) | | |
| | 児童 | 80% | 20% | | | | | | | |
| 進んであいさつ | ⑦ 子どもはいつでも誰とでも心が通う挨拶をすることができるか | <table border="1"> <tr> <td>教職員</td> <td>13%</td> <td>50%</td> <td>38%</td> <td></td> </tr> </table> | 教職員 | 13% | 50% | 38% | | 2.8 (-0.5) | | |
| | 教職員 | 13% | 50% | 38% | | | | | | |
| | ⑦ お子さんは、家族や地域の方に進んで挨拶をすることができますか？ | <table border="1"> <tr> <td>保護者</td> <td>39%</td> <td>57%</td> <td>4%</td> <td></td> </tr> </table> | 保護者 | 39% | 57% | 4% | | 3.3 (±0) | | |
| 保護者 | 39% | 57% | 4% | | | | | | | |
| ⑦ 誰にでも大きな声で自分から挨拶ができていますか | <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>60%</td> <td>30%</td> <td>10%</td> <td></td> </tr> </table> | 児童 | 60% | 30% | 10% | | 3.5 (+0.1) | | | |
| 児童 | 60% | 30% | 10% | | | | | | | |

【分析】児童の「話し合うことに対する意識」が急上昇！ トークトレーニングの効果！？

| | | | | | | | | | | |
|----------------------|--------|---|--|-----|-----|-----|----|--|---------------|---|
| D 対話や体験を通して策を見出す力 | 主に授業場面 | ③ 子どもは対話を通し、相違点や共通点、解決策を見つけ出すことができるか（集団思考） | <table border="1"> <tr> <td>教職員</td> <td>13%</td> <td>88%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 教職員 | 13% | 88% | | | 3.1 (+0.2) | <p>【職員の声】 話し合っって方向性を見出す力は少しずつ着実に伸びていると思います。</p> <p>【現状と今後に向けて】 今年度の東中小は、校内研修で「表現力の向上」をテーマの一つにしています。 各担任は日常生活の中（授業の中だけでなく朝の会や帰りの会なども含め）で、話す機会を意図的に設けています。 ゲーム感覚の楽しい活動（トークトレーニング）が多いので、子どもたちも抵抗なく楽しめている様子です。今後も継続して続けていきます。</p> |
| | | 教職員 | 13% | 88% | | | | | | |
| | | ③ 話し合うときは自分の考えと友達の考えの相違を意識したり、よりよい考えがないか話し合うことができるか | <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>80%</td> <td>17%</td> <td>3%</td> <td></td> </tr> </table> | 児童 | 80% | 17% | 3% | | 3.8 (+0.9) | |
| 児童 | 80% | 17% | 3% | | | | | | | |

| | | | |
|----------------------|------|--|--|
| D 対話や体験を通して策を見出す力 | 主に家庭 | ⑩ 子どもは経験を生かしてよりよい案を考えることができるか | |
| | | ⑥ お子さんはご家族や地域の方と楽しく話をしたり交流したりすることができていますか？ | |
| | | ⑩ 家族や地域の方と楽しく話をしたり交流したりしていますか？ | |

【分析】生活習慣は改善傾向だが、引き続き努力が必要

| | | | |
|----------------------------|------|--|--|
| E めあて達成に向け 粘り強く取り組む姿 | 生活習慣 | <p>⑧ 子どもは基本的な生活習慣が身に付いているか</p> <p>⑨ お子さんは規則正しい生活をしていますか？</p> <p>⑥ 規則正しい生活をし、自分のことは自分でしているか</p> | <p>【現状と今後に向けて(生活習慣)】 学校においては授業時間と休み時間、清掃時間などの時間を意識して生活する態度を養っていく。 今年度も生活リズムチェックシートに加え、保健指導・学級指導を通し「睡眠時間の確保」「デジタルデトックス=読書時間の確保」「食育指導」を中心に啓蒙を図っていく。</p> |
| | 粘り強さ | <p>⑪ 子どもはめあてに向かって行事や体力づくりに粘り強く取り組んでいるか</p> <p>③ お子さんは物事に粘り強く取り組むことができますか？</p> <p>⑪ めあてをクリアできるように粘り強く取り組んだか</p> | <p>【職員の声】 低学年のうちから、粘り強く取り組むことの良さを感じさせたい。</p> <p>【現状と今後に向けて(粘り強さ)】 児童の回答から、運動会や宿泊研修など、めあてを意識した行事を通しての達成感が大きかったと考えられる。その努力、成長は認めながらも教職員はまだ「伸びしろ」があるとおさえていることが分かる。 2学期においても、児童の気持ちを認め励ましながら指導を重ねる必要がある。</p> |

【分析】学校の取組については概ね高評価をいただいている。ご指摘いただいた部分はすぐに改善

| | | | |
|---------------|--|--|---|
| 学校に取り組みに対する設問 | 【学校の取組】 | <p>⑩ 学校は地域の方と連携したり地域のフィールドを生かした教育活動を行っていますか？</p> | <p>【現状と今後に向けて】 概ね肯定的な評価をいただいたが</p> <p>①持ち物が必要な時の連絡が遅いことがあること。</p> <p>②教育活動を分かりやすく発信(学校だより、HP、学級通信、必要に応じた電話や面談)することの継続、深化</p> <p>③「学習がよく理解できている」との回答を増やす</p> <p>などの取組は必要</p> |
| | ⑪ 学校はお子さんの様子や出来事を積極的に伝えていきますか | | |
| | ⑫ 学校は感染症対策やいじめ防止など学校生活に関わる危険管理に努めていますか | | |
| | ⑤ お子さんは、学習した内容をよく理解し身に付いていますか？ | | |

学校評価から見える東中小学校の今

【後期の重点課題】

C 両者の気持ちがあたたまる挨拶

E 児童の達成感を認め、励ましながら粘り強さを高める。

デザイン外

チームで取り組む改善・継続ポイント

【学力向上プロチーム】

- ①「できる・わかる」授業の追究 ②ICTの効果的な活用 ③読書活動の充実

【心身育成プロチーム】

- ①困難を乗り越える粘り強さと達成感を高める行事 ②危機管理への対応

【学校全体】

地域の一員としての礼儀作法(挨拶を中心とした)指導の充実